



たくさんの元氣と笑顔が
あふれるまち 磐田
～今までも、これからも ずっと磐田～

第2次磐田市総合計画 概要版

発行年月：平成29年3月 編集：磐田市企画部 秘書政策課
〒438-8650 静岡県磐田市国府台3番地1 電話：0538-37-4805

<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>



磐田って
いいな♪

第2次磐田市総合計画

- 概要版 -

平成29年度～平成38年度まで



磐田市

たくさんの元気と、笑顔があふれるまちへ。



「総合ナンバーワン」の
まちを目指して



磐田市長 渡部 修

磐田市は、平成17年4月、合併により誕生し、これまで、新まちづくり計画及び平成19年4月からスタートした「第1次磐田市総合計画」に基づき、新市としての一体感の醸成やまちの均衡ある発展を目指して、ハード・ソフトの両面から合併後のまちづくりを進めてまいりました。

この10年間に、リーマンショックに端を発した世界的な金融不況による日本経済の停滞、ICTをはじめとする急速な科学技術の進展、少子高齢・人口減少社会への突入などの社会経済情勢の変化、これに加え、平成23年3月11日に発生した東日本大震災など、私たちは、これまでに経験したことのない大きな転換期を迎えております。

また、時代の大きな変化の中で、地方分権改革の進展や経済の低迷による税収の減少、多様化・複雑化する市民ニーズへの対応など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、今の時代を生きる私たちは、こうした様々な問題に立ち向かっていかなければなりません。

このような社会情勢を踏まえ、次の新たな10年に向けて、この度、策定した「第2次磐田市総合計画」は、まちの将来像として「たくさんの元気と笑顔があふれるまち 磐田」を掲げ、市民の皆様とともに、「地域が元気」「企業が元気」「住む人が元気」になることで、たくさんの笑顔が集まり、あふれ、市民が幸せを実感でき、多くの方に「住んで良かった」「住み続けたい」と言われるような「まち」を目指していくものです。

これからの10年は、さらに進む人口減少の問題や国の財政的な合併支援措置のひとつである普通交付税の合併特例措置の終了など、本市を取り巻く状況は、引き続き厳しくなることが予測されますが、このような状況下であっても、しっかりと進むべき方向を定め、本市の恵まれた地域資源を生かして課題を克服し、合併後のまちづくりから次代を担う子ども達へとつなげる新たなまちづくりへと大きく舵を切り替えていかなければなりません。

今回の策定にあたっては、行財政改革はもとより、財政見通しに基づいた実現性・実行性のある計画とし、現在、進めている学府一体校構想やJR新駅の設置、新東名スマートインターチェンジの整備などを「まち」を発展させることのできる好機と捉え、将来の基礎づくりをさらに大きく進めていくこととしています。

本計画をまちづくりの目標として着実に推進し、全体のバランスが取れ、どこにも負けない「総合ナンバーワン」のまちを目指して、全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様のお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、この総合計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました議会ならびに磐田市総合計画審議会の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様に、心より感謝を申し上げます。

平成29年3月

第2次磐田市総合計画とは

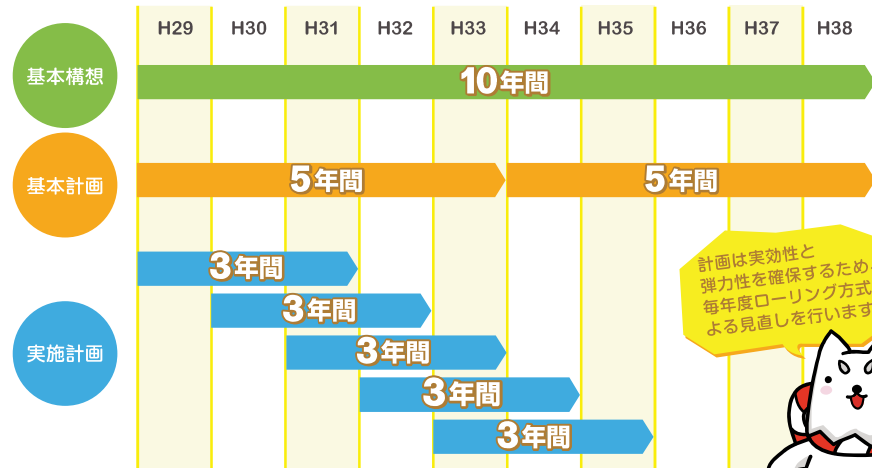
策定の趣旨

本市では、まちづくりの基本的方向を示す計画として総合計画を策定し、計画的にまちづくりを進めてきました。第1次総合計画期間中には、リーマン・ショックに端を発した長引く景気の低迷や、東北地方を中心に甚大な被害を引き起こした東日本大震災の発生など、社会経済に多くの影響を及ぼす出来事がありました。

これからも様々な変化が想定される中で、本市が発展していくためには、健全な財政のもとで市民、事業者、行政が一体となって活力あるまちづくりを推進し、安全で安心できる生活環境の形成や、ものづくり・スポーツのまちとしての優位性を生かし、個性あふれるまちとなることが求められています。平成17年の5市町村の合併から12年を迎えた本市のまちづくりが、まさに新たなステージへステップアップするための計画として、また、時代の変化に柔軟に対応し、本市が目指す姿と進むべき道筋を明らかにするための指針として、平成29年度を初年度とする新たな総合計画を策定します。

計画の構成及び計画期間

第2次磐田市総合計画の構成は… **基本構想** **基本計画** **実施計画** の3層構造です。



計画は実効性と弾力性を確保するため、毎年度ローリング方式による見直しを行います！





まちづくりの体系

今後の10年先を見据え、市民・事業者・行政が一体となって、オール磐田で、目指すべき「まちの将来像」と、「まちの将来像」を実現するための「まちづくりの基本理念」、「まちづくりの柱」などの関係について、体系的に整理します。

まちの将来像

たくさんの元気と 笑顔があふれるまち 磐田

～ 今までも、これからも ずっと磐田 ～

まちづくりの基本理念

～ 未来のまちづくりを担う「人づくり・地域づくり」を進めます ～

まちづくりの柱

ものづくりと
スポーツのまち



子育て・
教育のまち



自然と歴史・
文化のまち



安全・安心な
まち



基本計画（分野別計画）



未来のまちづくりを担う 「人づくり・地域づくり」を進めます

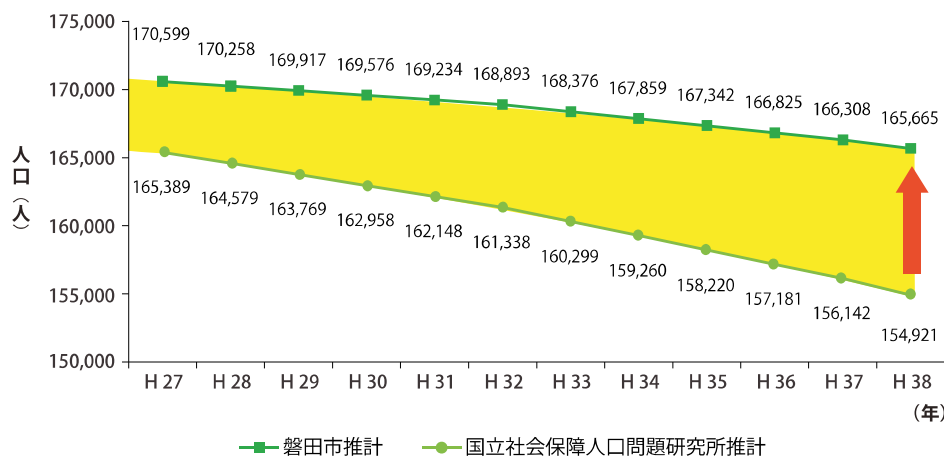
まちづくりの基本理念



第2次総合計画では、まちづくりの基本理念をこのように定め、未来を担う子どもたちや地域活動を支える人材の発掘・育成や地域への支援などを通して、より一層の「人づくり・地域づくり」を進め、基本構想に掲げる「まち」の将来像の実現に取り組みます。

計画策定の背景 (将来人口)

本市の人口は、平成20年の177,185人をピークに減少局面へと突入し、平成38年には154,921人まで減少すると予想されています。本計画の推進により、平成38年の人口を約166,000人とすることを目指します。





01 産業・雇用・観光・移住定住

本市の特徴である“ものづくり”における人材や技術の集積を活かし、既存産業の活性化や創業・新産業の創出などにより雇用の場の確保に努めるとともに、本市が持つ様々な魅力（観光資源、文化など）、地域ブランドを市内外に効果的・戦略的に発信し、交流人口の増加やその先の移住・定住を目指します。

【基本施策】



【重点事業】

- 1 次世代型農水産業** などに参入する企業を支援します
 新しい技術を活用した次世代型農水産業が本市の産業の新しい柱となるよう、補助制度の創設などにより企業への支援を行います。
- 2 多様な担い手の育成に向け「いわた農業経営塾」を推進します**
 企業の農業参入や農業の多様な担い手育成等を図るため、民間企業と連携して「いわた農業経営塾」を推進します。
- 3 企業の立地環境の整備を進めます**
 企業ニーズの把握を通じて企業が立地しやすい環境を整備し、企業立地を推進します。
- 4 創業支援ネットワーク「チャレンジサポーター磐田」を活用して創業・起業を推進します**
 創業支援事業計画に基づき、関係機関で構成する創業支援ネットワーク「チャレンジサポーター磐田」を活用した創業・起業への支援を行います。
- 5 「軽トラ市」開催への支援など“まち”のにぎわいづくりを推進します**
 「軽トラ市」などのイベント開催や既存商店・開業しようとする方への支援を通して、まちのにぎわいづくりを推進します。
- 6 磐田のブランド力の強化などシティプロモーションの取組みを推進します**
 本市のイメージアップや他自治体との差別化を図るため、テレビCMやラジオ番組、SNSなどを活用したシティプロモーションの取組みを推進します。
- 7 首都圏等での就職面接会の開催などにより「UIJターン就職」を促進します**
 首都圏等での市内企業による就職面接会や就職希望者への人材育成セミナー、市内企業へのインターンシップの推進などの実施を通して、UIJターン就職を促進します。





02 自治・スポーツ・文化・歴史・共生

市民の自主的・主体的なまちづくりを推進するため、地域づくり協議会の活動を支援するとともに、交流センターを拠点とした地域づくりを進めます。また、市民が、生涯にわたって様々な知識や教養を身に付けるとともに、心身の健康づくりに向けて学習機会の充実やスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。あわせて、これまで培ってきた歴史・文化の適切な保全・活用を図るとともに、女性や外国人の社会参加を支援・促進します。

【 基本施策 】



【 重点事業 】

- 1 交流センターの地域活動の拠点としての機能・体制の充実を図ります**

多世代の交流や健康づくり、介護予防、相談、見守りなど地域活動の拠点となる交流センターの機能の充実を図るとともに、施設を活用した地域づくり・人づくりを推進します。
- 2 「磐田スポーツ部活」を推進します**

中学生等のスポーツ活動の機会充実と教職員の負担を軽減するため、学校部活動の枠を超えた新たな「磐田スポーツ部活」を推進します。
- 3 “ジュビロ”を活かしたまちづくりを進めます**

人づくりや活気あるまちづくりを進めるため、2つのジュビロ（サッカー・ラグビー）のホームタウンである強みを活かしたジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦などの事業を実施します。
- 4 ワールドカップ、オリンピック等のキャンプ地誘致や機運醸成活動を推進します**

スポーツを活用した地域の活性化を図るため、ワールドカップやオリンピックなどの国際スポーツ大会や国内の大規模大会の会場及びキャンプ地招致などを推進します。
- 5 新たに卓球場・アーチェリー場を整備します**

市内出身のトップアスリートの顕彰とスポーツ振興を図るため、新たに卓球場・アーチェリー場を整備します。
- 6 (仮称)磐田市文化会館の整備を実施します**

文化芸術に接し、発表する場の充実を図るため、新たな文化芸術の拠点として(仮称)磐田市文化会館を整備します。
- 7 遠江国分寺跡の整備を実施します**

歴史文化遺産である特別史跡遠江国分寺を保存・活用するため、子どもから高齢者まで幅広い方に親しまれる公園として整備します。
- 8 電子図書館の活用等による図書館機能の充実を図ります**

図書館利用者へのサービスの向上を図るため、地域資料のデジタル化や電子書籍サービスの提供などにより、図書館機能の充実を図ります。
- 9 新たな男女共同参画プラン・多文化共生推進プランを推進します**

新たに策定した「磐田市男女共同参画プラン」・「磐田市多文化共生推進プラン」に基づき、取組みを推進します。



01 産業・雇用・観光・移住定住

02 自治・スポーツ・文化・歴史・共生

03 子育て・教育

04 健康・福祉

05 防災・海防・安全安心

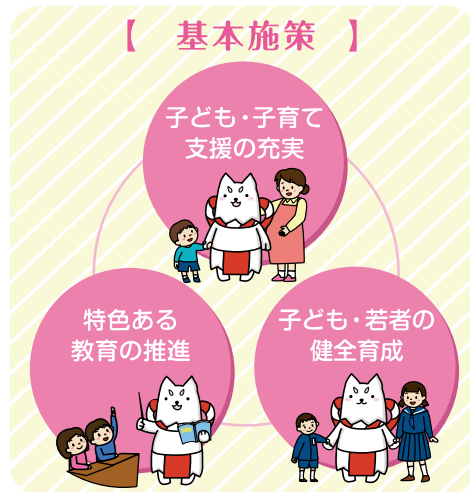
06 都市基盤・環境

07 行財政改革



03 子育て・教育

未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、たくましく育つ環境づくりを進めるため、妊娠から出産、子育てまでの継続した子育て支援の充実を図るとともに、家庭や地域と連携した開かれた学校づくりや、子どもたちを「地域の宝」として学校や保護者と共に守り育てるための教育施策を推進します。



【 重点事業 】

- 相談機能を備えた「(仮称)子ども図書館」を整備します**

豊田図書館を活用し、未来を担う子どもたちとその保護者に役立つ施設として、子育て支援機能と図書館機能を兼ね備えた複合施設を整備します。
- 幼稚園・保育園の再編・再築を検討・推進します**

多様な保育ニーズに対応するため、「磐田市幼稚園・保育園再編計画」に基づき、幼稚園・保育園等の再編・再築を検討・推進します。
- 県内初の児童発達支援・就労支援一体型施設の整備を進めます**

県内初となる児童発達支援・就労支援一体型施設の整備への支援など、子どもの発達支援体制づくりを進めます。
- 学府一体校等新時代の新たな学校づくりを推進します**

子ども・教員・地域の人と人とのつながりを深め、小中一貫教育と「地域とともにある学校づくり」のさらなる推進を図ります。
- 中学生の海外派遣など体験を重視する教育を推進します**

小学生のジュビロ磐田ホームゲーム一斉観戦の実施、小中学生の広島平和記念式典への派遣や中学生の海外派遣の実施など、体験を重視した教育を推進します。



「私の夢見る10年後のいわた」作品

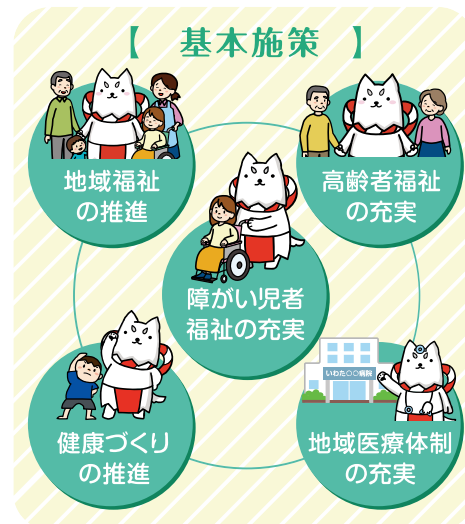


※これらの作品は、平成27年度に合併10周年を記念して市内小学4年生から募集した作品です。



04 健康・福祉

誰もが住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるように、市民ニーズに対応した福祉サービスの充実や地域で支え合う体制づくりを進めるとともに、疾病予防などのライフステージに応じた健康づくり、適切な医療サービスを受けられる地域医療体制の充実を図ります。



【 重点事業 】

1 地域福祉を担う人材の育成を推進します

地域における福祉活動を推進するため、活動の担い手となるボランティアなどの活動を支援し、地域福祉を担う人材の育成を進めます。



2 地域包括ケアシステムの構築を推進します

住み慣れた地域で安心して生活をするために必要な在宅医療と介護の連携、地域における支え合い活動を進めます。



3 認知症の相談支援体制を強化し 認知症対策を推進します

認知症の早期発見・早期対応を推進するため、認知症サポーターの養成や地域包括支援センター等への認知症地域支援推進員の配置、認知症初期集中支援チームの設置などにより、地域における支援体制づくりを進めます。



4 障がい者雇用・就労を促進します

障がい者の自立や社会参加を促進するため、障がい者施設の整備を推進するとともに、障がい者の就労機会の拡大を支援します。



5 子どもから大人まで ライフステージに応じた健康づくりを進めます

交流センターを拠点に健康講座や健康相談を行う「まちの保健室」や住民主体の健康づくり活動を実施し、子どもから大人までの健康づくりを進めます。



6 地域医療連携体制の充実を進めます

「かかりつけ医」や福祉・介護施設等と「市立総合病院」とのさらなる連携の強化や地域医療連携についての出前健康講座や講演会など市民や事業者、福祉・介護施設等への啓発などを行い、地域医療連携体制の充実を進めます。





05 防災・消防・安全安心

市民の生命と財産を守るため、地震や豪雨等の自然災害に対する防災・減災対策の推進や消防・救急体制の充実を図るとともに、防犯や交通安全などの日常生活における対策を進め、市民が安全・安心に暮らせるまちを目指します。



【 重点事業 】

- 1 自主防災組織への支援など 地域防災力の向上を図ります**

訓練等を通じた市民の防災意識の向上や自主防災組織への支援、消防団の組織体制の整備などを進め、市民との協働により、防災体制を強化し、地域の防災力の向上を図ります。
- 2 海岸堤防整備を推進します**

津波による被害が想定される地域において、一人でも多くの生命・財産を守るため、静岡県第4次地震被害想定レベル2の津波に対応した静岡モデルによる海岸堤防整備を推進します。
- 3 新たに耐震シェルター設置補助を行うなど 家庭の防災対策を支援します**

住宅の倒壊や家具の転倒による死傷者を防ぐため、住宅の耐震化や家具の転倒防止・耐震シェルターの設置を推進するなど、家庭における防災対策を支援します。
- 4 新たな消防庁舎施設整備計画を策定・推進します**

火災から市民の生命・財産を守り、大規模化、複雑多様化する災害に対応するため、消防庁舎施設整備計画の策定・推進など総合的な消防体制の強化を図ります。
- 5 青色回転灯装備車両による 防犯パトロールなど地域防犯活動を支援します**

青色回転灯装備車両による防犯パトロールや啓発活動などの地域防犯活動を支援します。
- 6 子どもや高齢者を交通事故から守ります**

交通ルール・マナーなどの交通安全意識の向上を図るとともに、交通安全施設や通学路の安全対策を進め、子どもや高齢者を交通事故から守ります。
- 7 消費生活センターの機能の強化・充実を図ります**

消費生活相談や市民相談業務において、複雑・高度化する専門的な相談に対応するための体制の充実・強化を図ります。





06 都市基盤・環境

暮らしの利便性の向上や地域経済活動の発展に向け、市民の日常生活を支える上下水道などの生活基盤を整備するとともに、道路・公共交通などの交通ネットワークの形成を進めます。また、自然と人の共生を進めるため、自然環境の保全に努めるとともに、環境にやさしいライフスタイルや循環型社会の構築に向けた取組みを推進し、人と自然にやさしいまちを目指します。

【 基本施策 】



【 重点事業 】

- 磐田市都市計画マスタープラン・磐田市立地適正化計画**を策定・推進します

磐田市都市計画マスタープランを改定するとともに、磐田市立地適正化計画を策定し、快適で暮らしやすいまちづくりを進めます。
- JR新駅の設置とアクセス道路の整備**を推進します

市東部地域へJR新駅の設置やそのアクセス道路の整備を進め、新しいまちづくりを進めます。
- 新東名スマートインターチェンジ**の設置を推進します

市北部地域の新たな交通の拠点となる新東名スマートインターチェンジの設置を推進します。
- 土地区画整理事業**を推進します
(新貝・鎌田第一土地区画整理事業)

良好な市街地を確保し、移住・定住人口増加を図るため、新貝・鎌田第一の土地区画整理事業を進めます。
- 中古住宅リフォーム補助制度の実施など空き家対策**を推進します

人口減少や少子高齢化の進展に伴い、空き家の増加が予想されることから、空き家の除去への支援及び中古住宅リフォーム補助制度の実施などにより、移住・定住人口を増やし、放置される空き家の増加を防ぐ取組みを進めます。
- 上下水道施設の長寿命化・耐震化**を進めます

安全な水を安定的に供給するとともに、快適な生活環境を確保するため、上下水道施設の整備や災害対策を着実に進め、その機能維持に努めます。
- 新たな磐田市環境基本計画を策定し、環境に関する取組み**を進めます

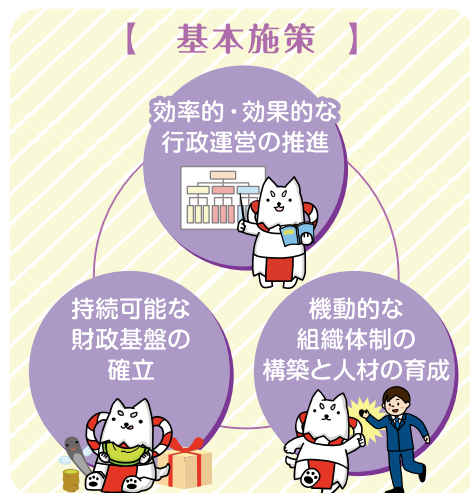
豊かな自然環境を将来の世代まで継承するとともに、環境への負荷の少ない持続可能な社会を構築するため、新たな磐田市環境基本計画を策定し、環境に関する取組みを総合的かつ計画的に推進します。
- 駒場霊園の整備**を進めます

社会情勢の変化や市民の墓地需要に対応するため、納骨堂を含む駒場霊園の計画的な整備を進めます。



07 行財政改革

持続可能な財政基盤の確立と効率的・効果的な行政運営や公共施設の長寿命化・適正な維持管理を推進することにより、市民の視点に立った行財政運営、市民サービスの向上を目指します。



【 重点事業 】

- 1 新たな行財政改革実施計画を策定します**

限られた資源で真に必要なサービスを迅速かつ効率的に提供し、市民サービスの向上を図る不断の取組みとして、新たな磐田市行財政改革実施計画を策定し、改革・改善を推進します。
- 2 磐田市公共施設等総合管理計画に基づき公共施設の適正配置等を推進します**

財政負担の平準化と施設の有効活用を図るため、磐田市公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な施設の維持管理・更新を行います。
- 3 公有財産の有効活用とふるさと納税制度等による積極的な財源の確保を進めます**

自主財源の確保を図るため、利用可能性のない遊休未利用地の売却などを進めるとともに、有料広告やふるさと納税制度を推進します。また、新たに企業版ふるさと納税制度の活用について検討・実施します。
- 4 新たな定員適正化計画を策定・推進します**

「最小の経費で最大の効果を上げる」という基本的な考え方のもと、常に必要な職員数を検証し、職員数の適正化を進めます。
- 5 新たな人材育成基本方針の策定等により、職員の資質向上や意識改革を進めます**

新たな磐田市人材育成基本方針の策定や人事評価制度を活用した人材の育成を行うなど、職員の資質向上や意識改革を進めます。



※財政・組織の建て直し 改革で生まれた財源は市民サービスに！

